



福井県の市境予想

福井県立武生高等学校

背景 市や町の境の形が歪で河川や山の尾根以外での境界の決め方に疑問を感じたから

目的 福井県内で市町村合併が起きた際、課題解決の一助になること。

先行研究 ・大合併は行財政基盤の確立を目的とした ・全国的に老朽化した社会資本の整備が問題となる

合併のメリット 広域的なサービス供給、効率的な社会資本整備、専門職員の確保

デメリット 都心部と周辺部の政治的対立及び格差拡大、住民のニーズへの不十分な対応

問い 市町村合併でどんな市町村が誕生するのか？

検証方法

- 1 過去の合併から合併の特徴を捉える
- 2 合併の要素ごとに地図に表し課題を明確化する
- 3 課題解決ができるように合併案を作る

過去の合併例

丹生郡朝日町+宮崎村+越前町+織田町=越前町

朝日村+宮崎村+(四ヶ浦村+城崎村)+織田村
が合併してできている。 **村を基盤とした合併**

昔の地図(1909年)の村境と、現在の小学校区の境がほぼ一致 ⇒ 市町村合併は**小学校区基準**で行われたと予想

地図制作に **労働力**・**財政**・**小学校区**・**交通**・**地理的要因** の5観点を使用

⇒それぞれの要素で問題点を定義し、今の形態での課題を地図上で明確化

・労働力、労働力率福井県平均64.7%未満の市町村に**水色**

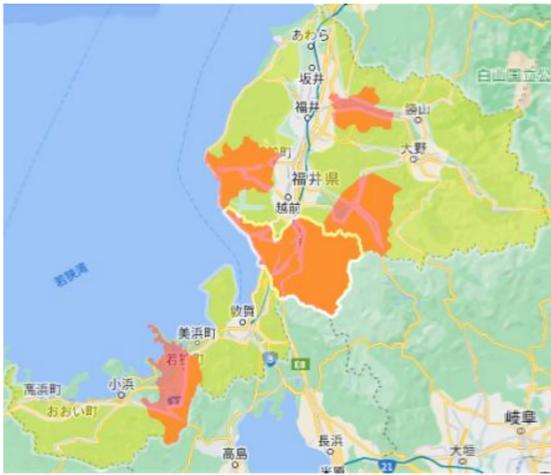
・財政力指数福井県平均0.4未満の市町村に**赤色**

・複式学級持ちの小学校区を**青色**

・交通網非整備区域を**黄色**

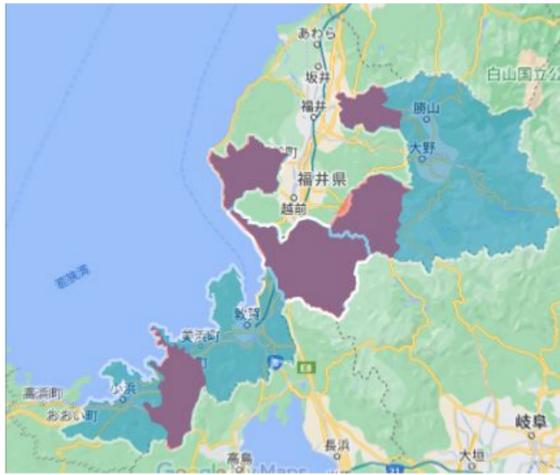
・居住区を**赤色**、水道を**青色**、一級河川を**黒色**

⇒強い因果関係を持つ地図2枚を重ね合わせて、読み取れること、考察をする



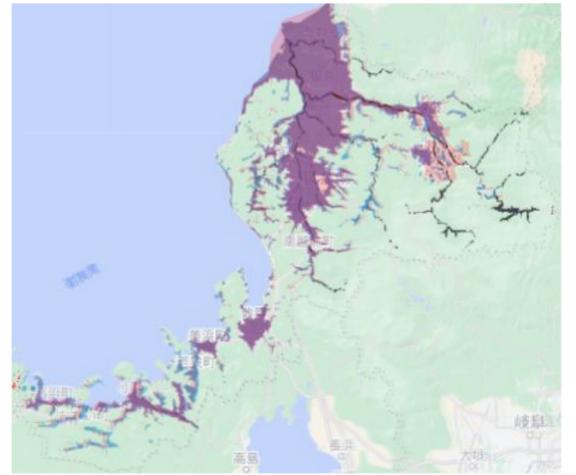
交通×財政

南越前町、越前町、池田町が両方で危機的
若狭町が嶺南唯一0.4未満⇒原発が嶺南で
唯一ないからと予想



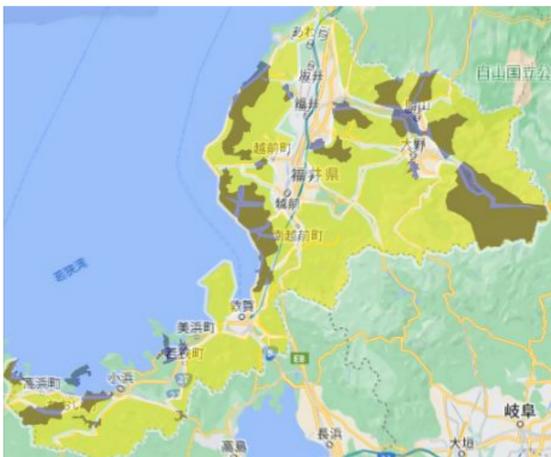
財政×労働力

南越前町、越前町、池田町、永平寺町、若狭町が
両方で危機的
嶺南は労働力が危機的⇒原発に依存してる



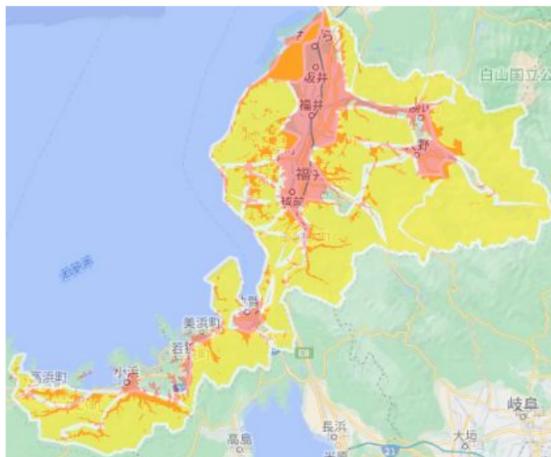
地理的要因図

大多数は河川沿い、海岸部に住んでる
理由予想、食料のため、侵食堆積で平地だから
上の仮説が成り立つ⇒居住区以外は山地



小学校区×交通

越前町、南越前町は両方で危機的
以外は交通整備済みで複式学級持ち
ただ単に小学生数が少ない



交通×地理的要因(居住区のみ)

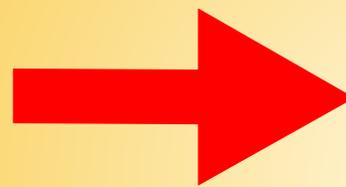
山の整備された場所に人がいる
人なし、交通整備されてない
南越前町、勝山市、大野市は危機的

前提・国からの資金援助○(合併算定替)

・災害の考慮×

・観光地の利権争い×

読み取れること、考察
から私達なりに
市町村合併をすると



A越前府中市 人口約82000人

合併区 越前市白山坂口除く、池田町

メリット 越前市の財政で安定化
国道417号中心で全体へ整備

デメリット 人口推移はあまりない
地理的に池田町の開発が困難

B大越町 人口約31000人

合併区 南越前町、越前町、越前市
白山坂口地区

メリット 教育環境の充実
県道3号から全体へ交通網整備

デメリット 観光資源に財政が依存
資金と時間がかかる

C若狭小浜市 人口約34000人

合併区 小浜市全土、若狭町西部

メリット 教育環境の充実
関西方面への移動強化

デメリット 資金と時間がかかる
山が入り組んでるので
整備が難しい